



パール特集〈2〉 イベント・ガイド



パールデザインコンテスト表彰式

6/12

6月15日(月) 2時 神戸ポートピアホテル

真珠の輝きをデザインする「インターナショナル・パール・デザイン・コンテスト」(主催/社)日本真珠振興会は今年で第9回目を迎え、最終審査は神戸で開催される。グランプリ賞金50万円他副賞のほか、入賞者の発表と表彰式は、神戸ポートピアホテルで華麗なショーとして展開、披露され、その作品群は博覧会場「ファッショントライプ・シアター」で展示された後、全国主要都市を巡回して公開される。



パール・プリンセス決定

6/15

6月12日(金) 6時 神戸文化ホール

海の宝石といわれる真珠。その神秘さ、華麗さを伝えるにふさわしい教養と健康を備えた女性を「パール・プリンセス」として募集。真珠を通じた国際親善、さまざまな真珠PRキャンペーンの場で活躍する「新しい美のシンボル」が誕生する。

このパール・プリンセス決定の最終審査と発表会は、



木ノ実ナナ

総合司会に岡田真澄、ゲストに木の実ナナ、そして審査員は内海重典、大地真央が担当。この模様は録画して6月21日、サン

テレビで放映される。

パール・プリンセスの応募資格は、未婚、既婚、国籍を問わず、健康で明朗な満18歳以上の女性。代表パール・プリンセスには賞金30万円、パール・プリンセスには賞金20万円の他、副賞が多数用意されている。



パール・フェスティバル

7/12

7月12日(日) 神戸ポートアイランド博覧会/国際広場

10:00~11:30 開会

「白雪姫と7人のこびと」(木馬企画)

2:00~2:20 ファッション・ショー「真珠・その魅力ある可能性」

2:20~2:30 しばたはつみショー

3:00~3:30 パール・プリンセス登場 アンケイト抽選会

3:30~4:00 デイスコ・タイムDJ/デニス ゲスト/世界デイス

3:40~4:10 コチャンピオンのデディ・ダン

6:00~6:20 パール婚さんいらっしゃい

6:20~6:40 ファッションショー「真珠・その魅力ある可能性」

6:40~7:10 しばたはつみショー

7:20~7:40 デイスコ・タイム



しばたはつみ



華麗なるファッションショー

開会式の後、ぬいぐるみ劇団〈木馬企画〉の公演「白雪姫と7人のこびと」がオープニング。午後からは、真珠を素敵に装うファッション・ショーは神戸ファッショントライプ・モデリスト(KFM)のメンバーの作品とともに繰り広げられる華麗なるステージ。ラゲジュアリー・レイしばたはつみのショーでは真珠をテーマにした歌も予定。6月12日に決定するパール・プリンセスも、真珠を着飾って登場。そしてこの時には、会場などでのアンケートに答えた人たちのなかから抽選で20名に真珠製品のプレゼントも。デイスコ・タイムでは、人気のDJ・デニス君のおしやべりと、世界のデイスコダンスのチャンピオン、デディ・ダンが華麗な模範演技をみせる。

第3部のオープニングは、「パール婚さんいらっしゃい」。結婚30周年(パール婚)を迎えた3組の夫婦が登場。豪華真珠製品がプレゼントされる。

「パール婚さん、いらっしゃい」に出場希望の方は、今年7月中旬にパール婚を迎える夫婦で、住所、氏名、年齢、結婚された年月日、電話番号を記入のうえ6月20日までに申し込みを。申し込み先/神戸市中央区山本通2丁目2-2 明信レジデンス302 神戸真珠親睦会内(パール婚さん、いらっしゃい)係まで

大きく育った 味の年輪

しあわせの年輪が
大きく育ちますように



バウムクーヘン ¥700~¥3,000

北欧の銘菓
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・案内店 神戸市中央区能内町1-8(南星美術館東隣)TEL 221-1164
■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・神戸アパルト・元町店

● 海外旅行なら...

運輸大臣登録一般旅行業 第492号 TOP NOTCH INC

株式会社 **トップナッチ**

ヨーロッパ生れの神戸っ子

ロンドン・パリ・神戸・原宿とネットワークを持つ
ヨーロッパ志向のあなたにぴったりの旅行社です。

業務内容

● 格安航空券

アメリカ、ハワイ、ヨーロッパ、東南アジア、アフリカ、オーストラリア

● 格安ヤング向けツアー

アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、ハワイ、グアム、香港、シンガポール、ニュージーランド
例・ハワイ4泊6日 ¥168,000

● 各国情報

● 各国ホテル・レンタカーの手配

● A.I.U.保険・パスポート・ビザの手続

● 英国短長期留学相談(10年の実績あり)

● 海外慰安旅行

● その他の旅行相談

Tel. (078) 242-2695



〒650 神戸市中央区琴緒町5-7-5

グリーン・シャポー201号室

東京(原宿) ・ 東京都渋谷区神宮前3-22-9

満月ビルTel. (03) 405-5931

ロンドン(ピカデリー) ・ 849 Kent House, 87 Regent St.

London, W.1 Tel. 01 (437) 6671-3

パリ(サントノール) ・ 9, Rue Du Faubourg Saint-Honore,
75008 Paris, Tel. 268 05 31



●神戸で開かれた第四回全国タウン誌会議

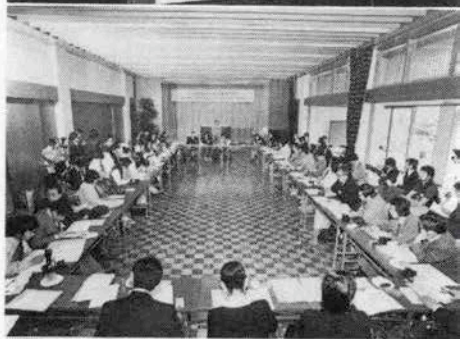
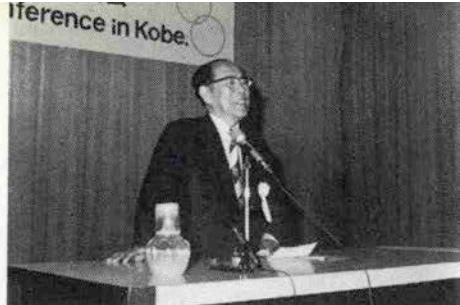
地方の時代、文化の時代の

広がりをめざして

「地方の時代」「文化の時代」を模索し全国で個性ある地域文化創造のために奮闘しているタウン誌の現状と未来について語り合おう——第四回目の全国タウン誌会議は北は旭川の「ほうずき」、南は沖縄の「青い海」と全国津々浦々から58誌・83名が参加して、4月8日ポートピアⅧで沸きたつ神戸で開催された。会場の相楽園会館には多数のマスコミ関係者の取材も詰めかけ、地域社会を先導するタウン誌の今日的役割が改めて認識されつつあることが実感させられた。

冒頭、実行委員長の小泉康夫（月刊神戸つ子編集長）から開会挨拶とともに、ポートピアⅧに示される神戸の新しい都市づくりの方向性が紹介された後、米花稔神戸大学名誉教授による記念講演「地域文化と経済活動について」が行なわれた。講演では、大阪と神戸という性格の異なる二都市の事例から固有の文化を育てる背景が具体的に解明されるとともに、今後の都市づくりにあたっては、通り一遍の標語ですませず過去の歴史を各自の立場でじっくり咀嚼すること、マクロ的な視点だけでなく刻一刻と変化するプロセスを見きわめること、畑の違うもの同士のコミュニケーションを大切にすること、が重要であると示唆された。引き続いて全体会議が行なわれ参加者からそれぞれのタウン誌の活動紹介、現在の悩みや抱負が次々に発表された。タウン誌にそれぞれの顔が

あるように、この場で語られた内容も千差万別であったが、共通しているのは地方の時代を切り開くための生みの苦しみと確かな手ごたえ、そして熱い想いであった。パネルディスカッション「地域からの報告——タウン誌づくりの現況とビジョン」では、コーディネイターに田村紀雄（東京経済大学助教授、パネラーに梶原一豊（うづまっこ）、庄山章信（フェニックス）、清水信夫（マイ奈良）、山田耕三（ナイスタウン）、有川敦子（宮崎春秋）、ゲストパネラーに田中国夫（関西学院大学教授）を迎え、更に突っこんだ意見が交換された。「うづまっこ」からは、「閉鎖的・保守的な栃木市のその古さをこそ文化の継続性として誇りうるよう住民運動を展開してきた」と具体的に古くからある倉を史蹟として公開するよう一軒一軒頼んで歩いたり、女子刑務所の建物公開を行政に迫ったりのエピソードを紹介。「ナイスタウン」からは読者層を広げるための苦心とともに「単にタウン誌発行だけでなく、スタッフ全員がやりたいことをやる香川県にすむために頑張っている」基本理念が示された。「フェニックス」では「地域社会に文化の担い手として貢献するというポリシーが重要だ。新しい視点でふるさと福井を再発掘するために活字メディアだけでなく総合的な仕事を進める。もはや黒子でなく地域のリーダーとして自ら踊り子になる時代が来ている」。さらに「宮崎春秋」は、



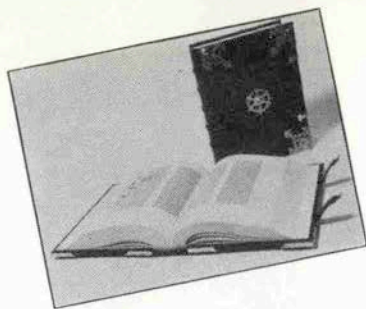
写真は上から米花穂さん、全体会議、パネルディスカッション、田中教授さん（右）と田村紀雄さん（左）

「肩をはらず野暮を言わず宮崎市民一人一人の暮らしぶりをみつめていく。後継者の養成も今後の課題だ。このタウン誌も頑張っているが、今のままでは既成のものプラスαでしかない。もう一步飛躍が必要だ」、最後に「マイ奈良」より「大仏商法といわれる旧態依然の商業活動を活性化し、大仏と鹿だけでない奈良のよさを発掘するために奈良町フェスティバルなど一連の活動を展開、商店の企画なども相談にのり喜ばれている」と町づくりの現状が報告された。

こういった現場からの報告に対し田中教授は、「一種の感動を持って本日の会議にきている。その理由は、皆さんの仕事が非常に危い綱渡りだからだろう。現在の日本において大変必要だが、押しつぶされそうな、無視されそうな、壮大な未来にむけての実験をされているタウン誌に敬意を表する」と前おきし、「サイコロジカルマン、つまり経済や政治でなく心理的に人間を考察するのが現代だ。自分の住むコミュニティを誇りにできるかどうか幸せの条件である。コミュニティの物的、人的、感覚的な文化要素を掘りおこし、地域の人々に伝えるという仕事は大変重要になってきている。大メディアによる一方通行の情報でなくタウン誌文化が花開く時こそ、日本人が本当の意味で人間になる時だ」と社会心理学者らしい含蓄のある発言で満場の拍手を受けた。

最後に田村助教授が「東京中心に動いている雑誌文化ジャーナリズムを反面教師としてタウン誌は誕生してきた。これから大きな問題となる地域文化について取り組んでいくのはタウン誌しかない。地域社会づくりのコーディネイターとして益々重要な役割を果たしていくが米國で70年代に隆盛を誇ったアングラ紙が世代交代に失敗した教訓を学んで後継者作りも行なう必要がある。編集上は衣食住が中心だが、地域住民に関わる社会問題にも独自のアプローチをしてほしい」と討論をまとめた。

会議の締めくくりに小泉実行委員長より大会決議として、大きな潮流として躍動する「地方の時代、文化の時代」の中で、更にタウン誌間の連帯を深め、タウン誌ジャーナリズムを確立するとともに、大きな障害となっている郵便料や流通の問題に共同して取り組んでいくことが宣言された。この会議は「神戸で大きな『転回』『地域』の先導『自覚深める』（神戸新聞）と新聞報道されたようにタウン誌と地域文化の今後を展望する上で、大きな意義のある場であった。夜の懇親会では、山本敏雄県文化部長、中田善司神戸市経済局長らの祝辞をうけ、楽しい交流の輪が会場のあちこちで広がった。なお、次の全国タウン誌会議は、会場を九州に移し宮崎で行われることが決定している。



●兵庫県で初めて開催される

聖書愛読運動を

成功させよう

兵庫県で今年度6月7日より18日間にわたって聖書愛読運動が展開されることとなった。この運動は、人類史上最大のベストセラーである新約・旧約聖書をより多くの人々に読んでもらおうと日本聖書協会の提唱により、毎年一つの県を単位に関係団体が協力して繰り広げるものである。1月19日には、兵庫県下350のキリスト教会、学校、YMCAなどの諸団体が集まって「兵庫県聖書愛読運動実行委員会」（宮崎明浩実行委員長）が結成された。キャンペーンの主な行事は、大聖書展、曽野綾子の記念講演、県下の巡回講演会、「聖書と生活」を主題にした作品コンクールなどである。

まず「大聖書展」は、そうこう神戸店新館で6月19日から24日まで「世界を動かした聖書」のテーマで、死海写本、パチカン写本（以上複製版）、ビブリア、ヘブライカ、グーテンベルク印刷聖書、ルター訳ドイツ語聖書、翻訳委員社中訳かな版またい伝、日本最古の聖書であるギョツラフ訳約翰福音之伝など歴史的価値の高い聖書350点が出展されるのに加え、クリスチャンである小磯良平画伯の傑作「聖面聖書」の原画32枚とデッサン40枚が初公開される。また、ドイツのマイニンツにあるグーテンベルク博物館に保存されているグーテンベルク印刷機の原寸大複製を兵庫県印刷工業組合が出展するなど、人類の文化史そのもの内容になっている。

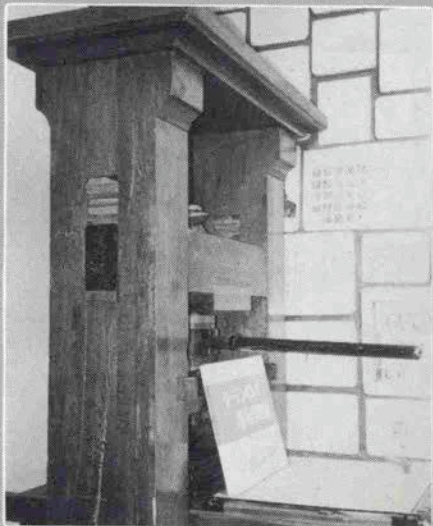
記念講演会は6月19日午後6時半より国際会館大ホールで行なわれるが、曽野綾子さんは「誰のために愛するか」で現代の愛のあり様を追求して若い男女の圧倒的な共感をよんだカトリック作家。「現代人に語る神のことば」の演題で、聖書の世界を現代に甦らせ、感動的なメッセージを届けてくれる。田村大三とそのファミリーによる指笛音楽も披露され、この日の入場料500円はアジアの諸国に聖書を贈る資金の一助とされる。

巡回講演会は、3名の講師を中心に県下の教会や学校をまわるが、まず日本基督教団の牧師であると同時にユニークな文芸評論で活躍の佐古純一郎が6月8日から18日まで19会場、評論家・小林秀雄の妹でありプロテストント作家の高見沢潤子が6月13日から22日まで20会場、「日本人とユダヤ人」などのグローバルな視点での出版活動で知られる山本書店・山本七平が6月20日から23日まで6会場、それぞれ講演会を行なう。

以上が今回のキャンペーンの概要であるが、兵庫県は教会やキリスト教団体、信者の数も多く、聖書に対する県民の理解の深さは全国で一、二を争う。とりわけ明治以降、海を通じて世界の文化と直接の交流を果たしてきた神戸では様々なエピソードが残っている。豊臣秀吉以来のキリシタン禁止令がようやく撤廃されたのは、明治6年のことだが、実はそれ以前に神戸の居留地ではグリ



写真上：小磯良平「最後の晩餐」、中：曾野綾子さん、下：兵庫県印刷工業組合所蔵のグーテンベルク復元印刷機



インやデビスなどの宣教師の手で欧米の文化と共にキリスト教の精神が移植されつつあった。グリーンらは開国当初に横浜へやってきたが慶応4年に居留地の造成工事が始められ、日本の中心地は京都を中心にした西日本だという考えから明治3年には神戸へ移っている。明治5年に居留地内でユニオンチャーチが建てられ、日本人子弟のために宇治村英語学校が開設された。語学教育を媒介として、欧米の生活文化や宗教観などが伝えられていったのである。日本人の土着文化とキリスト教を支柱とした欧米文化との初めての出会いが居留地の中で火花を散らし、この当時の神戸は近代日本の文化を形づくるつぼの役割を果たしている。

禁止令が正式に撤廃された明治7年には摂津第一神戸公会（現在の神戸教会）ができあがり、三田藩主・九鬼の応援をうけて明治8年に女子教育のための神戸ホーム（神戸女学院の前身）が始められた。ちなみに、この頃グリーンとともに布教に情熱を燃やしたデビスは、その後新島襄と同志社の建学に力を注ぐことになる。

また大正2年にはYMCAの会館が誕生、文化講演にスポーツに演劇にと当時数少ないパブリックホールとして、新開地の聚楽館とともに神戸の近代文化を築く大きな役割を果たした。賀川豊彦に指導された友愛会も、こ

のYMCAの講堂から生まれている。

神戸とキリスト教との関わりを振り返る場合に忘れることのできない人物が賀川豊彦である。クリスマスの前日に賀川が「本当に困っている人、苦しんでいる人のために働きたい」と柳行李一つ抱えて新川の貧民窟に入っていたのが明治42年。黎明期の労働運動、農民運動を神戸に生みだし波乱の人生を送るが、「貧しい人、弱い人のために」という姿勢は生涯変わることがなかった。

こうした近代100年の歴史や先人の足跡をみるなら、キリスト教と欧米文化が現在の神戸を創造する大きな水脈の一つとして流れることを感ぜずにはいられない。神戸YMCAの今井鎮雄総主事は、今回の運動について「私たちがイスラム世界と対面する時にまだどこか完全に理解し合えぬ面が残っているように、その文化を支える精神をよく知らなければすれちがいが起こる。現代は文化啓蒙の時代だ。物質万能の世の中だが、それだけでは人間は次の時代に生きることができない。表層だけを見るのではなく物質を生み出すガイストに接することは、クローンネズミさえ作られる現代にあって、特に必要なことだ。信者のみでなく一般の方も、この機会に聖書の世界に触れてほしい」とその意義を語っている。

詳細は実行委員会事務局 神戸YMCA ☎078(241)7201まで



ビジネスに、ショッピングに
三宮で一番便利な
自走式立体モータープールです

- 収容台数 300台
 - 月 極 駐 車 可
 - 年 中 無 休
- (8:00AM~11:00PM)



磯上モータープール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873



経済ポケット ジャーナル

★神戸経済同友会代表幹事は牧・機木両氏が就任
4月14日夜、神戸経済同友会代表幹事就任披露パーティが、神戸銀行倶楽部で行われた。

昭和56年度の代表幹事は牧 冬彦神戸製鋼所副社長（再任）と機木茂男バンドー化学社長（新任）が務めることになった。



就任披露パーティ

パーティでは、まず牧副社長が「ポートピアⅧの成功によって神戸が全国の関心を一身に集めているという画期的なときに代表幹事を務めるのは光栄だ」と再任のあいさつ。さらに、機



木社長は「ポートアイランド、さらに六甲アイランドという大きなプロジェクトに大変な将来性と無限の可能性を感じると神戸の今後へ期待をのべた。」



新任の機木茂男
バンドー化学社長

そのあと二期代表幹事を務めた石野成明神栄石野証券社長が退任のあいさつをのべ、来賓のあいさつがつづいたあと外島健吉神商議会議長の音頭で乾杯、懇親会に移った。

★モロゾフ機創業50周年 葛野社長が翻訳書刊行

機が今年で創業50周年。これを記念して、チョココレートと一緒に生きてきたという同社の葛野友太郎社長が翻訳書『チョココレート〜ロマンのあるスイート』を刊行した。

訳者の葛野社長は明治38年生まれ。昭和3年京都帝國大学経済学部卒。昭和6年、モロゾフ機創立と同時に入社し、昭和17年社長に就任。現在は日本チョココレート工業協同組合常任顧問もつとめている。



刊行された『チョココレート〜ロマンのあるスイート』

原書は、アメリカのグルメ雑誌「The Pleasure of Cooking」の総編集長、ノーマン・コルバス氏の著書「THE CHOCOLATE」

で、チョココレートの歴史や物語を珍しい絵や写真入りで紹介している楽しい夢のある本。非売品。

★KOBEOフェイスレディ



杉山和子さん (23)

八国民金融公庫神戸支店V

くりくりと愛嬌たっぷり
の顔が魅力的である。日曜
はデートで大変では、と水
を向けると「うちでテレビ
見てるだけ」という。郷ひ
ろみに似た男子と早く出
会ってね。メニスやデイス
コに興ずる活動的なお嬢さ
んで、髪型を変えるのが趣
味。変身願望は女性につき
ものだが、目下のスタイル
は松田聖子を意識している

★呉服専門店の総会「フア
ッショナブルな着物」
毎年1回全国の呉服店が
集まって開いている全国呉
服専門店連合会の24回目の
総会が、6月8、9日に神
戸ポートピアホテル倶楽部
の間で開かれる。参加は全
国から35の呉服専門店会約3
百名。

着物の需要促進や販売面
など業界共通の恒例のデー
マのほか今年は特に神戸が
主権地というので「フアッ
ションとしての着物」につ
いても考えていくことにな
っている。これは洋服に押
されがちな着物を、フアッ
ションとして提えさせよう
というもの。

それに発展して、今秋に
は神戸呉服専門店会（加盟
神戸市内63店）主催で着物
のショーを予定、神戸の着
物という提案を試みる。



明るく健康的な魅力でいっぱい

全米コンクールで毎年優勝をおさめ海外公演も重ねるアメリカブリガムヤング大学(BYU)のフォークダンスチームが、神戸っ子の要望にこたえて来日。アメリカの陽気なエキシビジョンスクエアダンス、ソビエト・ウクライナの力強いコサックダンス、スペインの情熱的なフラメンコ、チエコの愉快なブルタックダンス、花笠音頭など、世界各国の民族舞踊をアレンジしたフォークダンスショーを繰り広げる。

外国招へい催し物
韓国 7月8日・10日(8日はナショナルデー)
ふるさとの日
島根県(6月24日)、岐阜県(6月30日)、高知県(7月7日)、富山県(7月11日)、宮城県(7月14日)、沖縄県(7月15日)、三重県(7月18日)
△6月20日以降1カ月間の主な催しを紹介しました▽



梓みちよ

7月はパリの民衆が旺政を倒した巴里祭の季節。梓みちよ、芦野安、深緑夏代、仲代圭吾などシャンソン歌手が総出演するポートピア'81巴里祭「海の歌」「空の歌」「愛の歌」を会場一体となって歌いあげる。

7月13日・15日 国際広場

シャンソン・ド・ポートピア

新沼謙治、三沢あけみ(5日)らがしつとりと歌いあげる。宝塚歌劇団も出演して舞台を盛り上げる。

BYUアメリカンショー

7月6日・11日

ポートピア'81
催し物

未来空間を体験する祭典

ポートピア'81

特報 神戸博のポイントガイド

にっぽんの演歌

7月2日・5日 国際広場

うれしいにつけ悲しいにつけ、ふと口ずさむ歌。日本人の心情に強く訴えかける演歌の世界を、小林幸子、びんから兄弟(2日)、千昌夫(3日)、森進一(4日)、



★会期: 3月20日~9月15日
開場午前9時30分・閉場午後9時30分
★入場料: 大人2,000円、高校生1,200円
中・小学生1,000円、幼児400円

パールフェスティバル
7月12日 国際広場

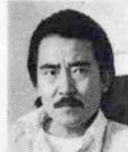
真珠都市・神戸が贈るスペシャルショー。人形劇「白雪姫」、パールファッションショー、多数の応募者の中から選ばれたパールプリンセスの紹介、しばたはつみの歌とデイスコ大会。主催は神戸真珠組合(詳しくは本誌48頁参照)。

ポートピア'81 ニュース&ガイド

★あなたのビデオ作品も 応募してください

映像情報博とまで呼ばれるポートピア'81。映像をテーマにしての企画が各種開催されているが、そのひとつとして、市民参加による「神戸ビデオコンテスト」へ主催・

神戸ビデオコンテスト実行委員会が計画されている。博覧会を機に、新しい文化メディアであるビデオ作品の発表の場をつくり、市民参加による未来都市文化・コミュニティ文化の創造を目ざすもので、以後毎年開催して、神戸における文化催事としての定着化を図っている。



上から
浦山氏
福野氏
今井氏

作品の募集は、プロ、アマを問わず、兵庫県を中心に全国を対象とし、20分程度の作品で、テーマは限定しないとなっている。審査員は、映画監督の浦山桐郎氏を委員長として、小林はくどう氏へビデオ作家、筑波大学講師、山本圭吾氏へビデオ作家、映像表現委員会、福井商高教諭、福野輝郎氏へビデオ作家、今井祝雄氏へビデオ作家、ポートピア'81展示作家ら（いずれも予定）で、予備審査をくり返して最終30作品に絞り、最終審査では、大賞ほか10作品を選出する予定。募集期間は6月15日～8月31日で星電社ビデオセンターおよび各支店で受付けている。入選発表は9月6日、表彰式と入賞作品の放映のほか、記念シンポジウムも開かれる計画。

★博覧会関係の建築設計図面集刊行

博覧会が終了するとパビリオンは取り壊し。未来を語る建物は百八十日間で消えてしまう。そのため、(社)兵庫県建築士会へ金野勝美会長が、「神戸ポートアイランド博覧会建築設計図集」を発刊。B4版、全二四四頁の膨大なもので、国内展示館、外国展示館などのパビリオン

や、国際広場などの諸施設の建築設計図と設計概要を収録しているほか、恒久施設である神戸国際交流会館、神戸ポートピアホテルなどの会場周辺主要施設も収録。企画編集は、昨年に兵庫県建築士会のなかから編集委員会を設けて検討し、そのうち青年部会のメンバーを中心にして作業部会を編成して編集作業を進めた。博覧会関係の建築物の単なる図面集として終わらず、博覧会開催の経緯と会場計画を詳しく盛り込んだ編集となり、ひとつの側面から博覧会の全容を知る出版物として高い評価を得ている。限定三千部。定価三千五百円。市内書店と兵庫県建築士会(☎351・6644・2800)で発売中

★MINAMIガラテ館で華麗な絵ハガキを発売

数あるパビリオンの中でも、地元企業南インターナショナル出展のガラテ館は海中ハウスの公開、シャガールの絵に出会えるレストラン「タプロ・シャガール」、フランスの香りをのせたステージでのパントマイムショー



カラフルな
MINAMI ガラテ館の絵ハガキ

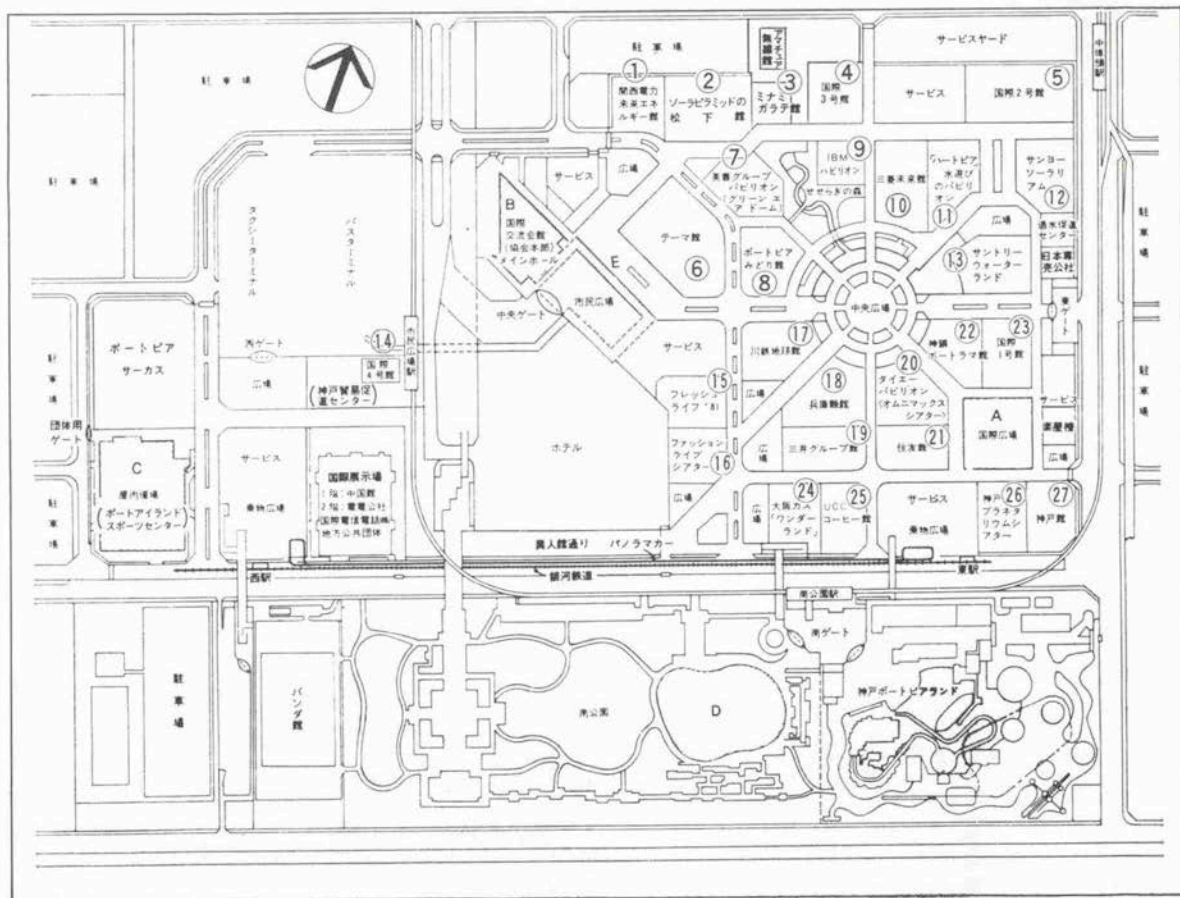
などエスプリあふれる内容が入場者の人気を呼んでいるが、この程、美しい6枚組の絵ハガキを製作した。ガラテ館、シャガールの絵「緑の光」と「光の中の花」、グレイス王妃から譲りうけた豪華クルーザー「モナコの花」などで構成されており、早くも博覧会見学の記念品としてマニアの評判をさらっている。一組五〇〇円。

★太平洋横断ヨットレースいよいよスタート

博覧会を記念して行なわれるシングルハンド太平洋横断ヨットレースは、11艇の参加があつて6月7日、サンフランシスコをスタートする。約4500海里のレースで、ゴールのポートアイランドには7月中旬ごろに到着する予定。またこのレースの様子は運営している日本外洋帆走協会に随時無線で連絡があり、博覧会場内にもその様子を表示する計画。

- | | | |
|----------------|---------------------|----------------------|
| 1 関西電力未来エネルギー館 | 10 三菱未来館 | 19 三井グループ館 |
| 2 松下館 | 11 「ハートピア」水遊びのバビリオン | 20 ダイエー(オムニマックスシアター) |
| 3 MINAMIガラテ館 | 12 サンヨーソーラリアム | 21 住友館 |
| 4 国際3号館 | 13 サントリー「ウォーターランド」 | 22 神鋼ポーターラマ館 |
| 5 国際2号館 | 14 国際4号館 | 23 国際1号館 |
| 6 テーマ館 | 15 フレッシュライフ'81 | 24 大阪ガス「ワンダーランド」 |
| 7 芙蓉バビリオン | 16 ファッションライブシアター | 25 UCCコーヒー館 |
| 8 ポートピアみどり館 | 17 川鉄地球館 | 26 神戸プラネタリウムシアター |
| 9 IBMバビリオン | 18 兵庫館 | 27 神戸館 |

ポートピア'81
会場図



□第六回

神戸文学賞 神戸女流文学賞 作品募集

小誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞および神戸女流文学賞を創設いたしました。これを機に有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動の一層の発展のために微力を尽したいと願っております。過去の受賞作品は次の通りです。

・第一回神戸文学賞「島之内ブルース」(田藤新二|尼崎市) 同女流文学賞「ベットの背景」(小倉弘子|大阪府)
・第二回神戸文学賞「姥捨て」(奥野忠昭|大阪府柏原市)「生活」(吉峰正人|神戸市)この回の神戸女流文学賞は該当なしで、神戸文学賞を二作が受賞
・第三回神戸文学賞「自由と正義の水たまり」(蒼竜一|奈良市) 同女流文学賞「夢の消滅」(大原由紀子|高知市)
・第四回神戸文学賞「溶ける園」(高木敬克|神戸市) 同女流文学賞「影と棲む」(田口佳子|伊丹市)
・第五回神戸文学賞「該当作なし、同女流文学賞「痕跡」(久保田匡子|大阪府)

ここに第六回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

△募集要項▽

一、神戸文学賞は男性作品、神戸女流文学賞は女性作品とし、共に西日本在住者で応募作品は一篇に限ります。

一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。

一、原稿枚数は四百字詰百枚前後。

一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品主題(創作主旨)をつけて下さい。

一、締切りは八月十五日(当日消印有効)

☆なお、選考は小誌ならびに小誌が依頼した選考委員によって行います。

一、入選発表は本誌昭和五十七年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。

一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。

一、入選作品の著作権は本誌に属します。

一、入選作品各一篇には副賞として賞金二拾万円が贈られます。

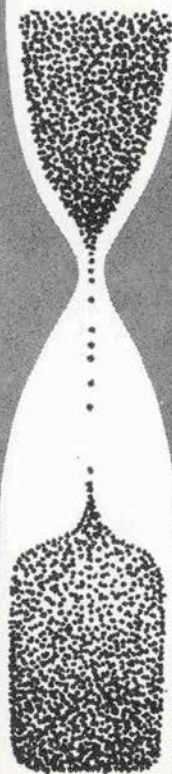
一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一三の一大神ビル七階月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
電話〇七八―三三三―二二四六

主催／月刊神戸っ子

★キャンペーン

国際文化都市神戸を

考える



(43)

開港以前に近代神戸の ルーツを求め

落合 重信 △郷土史家

井上 良信 △兵庫県史編集室

石田 善人 △岡山大学教授

名生 昭雄 △神戸市民俗調査団長

——神戸はしばしば明治の開港以来、一二〇余年の歴史の町だという言い方がされます。しかし、開港以来の近代都市としての歩みの背景には、そこに到るまでの連綿とつづく歴史があるわけです。今回は、開港以前の神戸の歴史を探ってみたいと思います。

謎を秘めた桜ヶ丘の銅鐸

井上 灘区の花ヶ丘から銅鐸がたくさん見つかったんですね。あれだけのものがあつたということは、古代にもよほどの中心が神戸にあったということでしょうね。

名生 桜ヶ丘から西には出ていませんね。しかも桜ヶ丘銅鐸は逸品、最高級品ですよ。

石田 あれをもっていたのがどういう人で、その人がその後どうなったかはまるっきり分りませんね。

名生 次の大和朝廷の出現までのわずかの期間ですからね。ただか百年あるかないかですね。

井上 このへんに相当な者がおつたことは認めるべきでしょうね。

落合 古代は難しいですね。普通は旧石器時代から縄文時代と続くのですが、縄文時代は狩猟時代でしょう。

だから日本の歴史としては当然考えなければいけないけれど、郷土の歴史としては、むしろ土地に定着する農耕文化の始まる弥生時代から考えるべきではないのか、というのが私の考えなんです。弥生からが郷土史だと思えますね。弥生時代中期頃から銅鐸が出て来るわけです。

どうして桜ヶ丘にあんなにたくさん出るのかということですが、大和朝廷の勢力に匹敵するような勢力がここにあったということはないでしょうね。あとの古墳時代をみてもまずそういうことはない。土地も狭いですしね。銅鐸は、どうも一集落に一つずつのものらしいですね。

秋の収穫祭などのときに使う祭器のようですね。結局、桜ヶ丘の銅鐸というのは、小林行雄さん（京大）の説に



石田 善人さん



落合 重信さん

よると、神戸の場合、垂水の投げ上から桜ヶ丘まで銅鐸の出土がないわけです。桜ヶ丘で銅鐸一四個と銅戈七個が出ています。それは、この二集落の間に幾つかあった集落が桜ヶ丘に統合されたからだというわけです。ところが、それも疑問があつて、桜ヶ丘のすぐ端の渦ヶ森、生駒、森、打出、津門などからは銅鐸が出て来る。そこらはどうも分らないですねえ。

古墳時代以降では、飛鳥時代の遺跡は神戸にはあんまりありませんね。兵庫の会下山が法隆寺領だということとは分っているんですが、そんなことぐらいですね。ただ次の白鳳時代、大化改新前後のいわゆる国郡制が出来る頃になると遺跡がありますね。摂津国八郡の郡衙^{ぐんが}一郡役所が今の室内小学校（長田）のあたりにあったのはまず間違いないですね。それから菟原の郡衙は御影から住吉にかけての地域。あそこには昔、郡家村というのがありましたからね。それに引ついていた住吉村に室ノ内という所がある。室内というのは、館のようですね。館は古代の言葉でムロツミといいます。八郡の郡衙が



名生 昭雄さん



井上 良信さん

あった所に室内小学校の室内がありますし、菟原郡の住吉村に郡衙があつたのは間違いない。室内小学校の辺からははっきりと白鳳時代から天平時代にかけての瓦が出ています。

大輪田泊（兵庫津）ができたのは奈良時代とも、あるいは平安初期だともいうのですが、摂播五泊の一つで、ずっと国家が管理をしていて、度々修理をやっていたようです。大輪田泊を対外貿易に使おうとしたのが、清盛の経ガ島築港ということになります。

対外貿易の最大の窓口だった兵庫港

石田 神戸と横浜は、日本の二大港で、どちらもたかだか開港百年の歴史しかない町だと見られるのですが、横浜と神戸とは、性格的にいうとまるきり違うんですよ。横浜は東京の外港みたいなところがありまして、それ自身の歴史をもたない町です。ところが、神戸の場合、大輪田泊から兵庫津へとつづく歴史は非常に重いと思う。平清盛が兵庫に経ガ島とよばれる築島を築き、港湾施設

を整備して以来の繁栄というものは、これは大変なものです。NHKが「黄金の日」を放送して以来、堺だけが港町のように思われていますが、実際には、応仁の乱までは、日本最大の港は兵庫だったんです。日宋貿易の拠点でもありましたしね。ところが応仁の乱ですっかり荒廃してしまっ、繁栄が堺に奪われるわけです。

当時は都が京都にありましたが、京都から一番近い港が兵庫だったんです。難波津は、奈良時代には奈良の外港として栄えていたはずなんです。淀川がどんどんどんどん砂を押し流して来るものだから港としてはすぐダメになる。清盛が兵庫に注目する理由がこれなんです。兵庫は天然の良港だったんです。そういう点で清盛は神戸の大変な恩人だったと思います。鎌倉時代にも兵庫は栄えていますし、室町時代の応仁・文明の乱までは、日本最大の港だったんですね。

落合 応仁の乱という和普通は京都のことだとみんな思っているのですが、西軍の山名宗全は細川方に対して弱いわけです。その山名を支持したのが今の山口県にいた大内氏で、兵庫へ上陸し、京都まで行って西軍を援ける。だから、事実上、京都での応仁の乱は東軍の細川と西軍の大内との一騎討でなかなか戦いが終わらない。なぜ大内氏をはるばると上京して来て戦うかというと、その当時の貿易は勘合貿易といって国営貿易ですね。大内氏としては中央での権利をもちたくて上陸して来る。ところがここ摂津は細川氏が所管している。そこへ西軍が上陸して来るわけですから兵庫が戦場にならざるを得ないわけ。それで兵庫の町は完全に潰滅して港の機能を失うわけ。

名生 鎌倉時代のごく初期に、東大寺の重源が兵庫港の修復をしていますね。

落合 兵庫の町は清盛以来といわれるほど古いのですが当時の兵庫の港は日本で最大の港で、江戸時代には人口は二万人。これは当時としてかなり大きな町です。清盛が開いた経ガ島は崩れるけれど、重源が清盛のあとをつ

いで経ガ島を再興して兵庫の港の基礎が固まるわけですね。

石田 兵庫港は東大寺、興福寺の寺領でもあった。

名生 そこから税金が入って来る。寺の有力な財源になっていたんですね。

石田 出船入船帳という、室町時代に兵庫の港に出入りした船の記録が残っているのですが、それを見るとすごいものですね。

落合 室町時代には兵庫は対外貿易の中心になって、対明貿易だけではなく、朝鮮貿易、琉球貿易など大体、日本の貿易の三分の二までがここで行われています。

名生 このあたりの歴史は、全国的に余り評価されていないですね。

戦国時代の名城「滝山城」

石田 このあたりで、そもそも一番古い港は敏馬の崎ですね。それから大輪田泊がだんだんと栄えるようになって、それが兵庫の港になった。それと、神戸の人は余り評価しませんが、江戸時代に兵庫が天領だったということも幸いしたと思いますね。

井上 はじめは尼崎藩の領だったんですね。

名生 そうです。明和六年（一七六九年）から天領になっていますね。湊川神社の楠木正成墓もとは尼崎藩にあったわけですね。

石田 神戸は「平家物語」と「太平記」のどちらの舞台にもなっていますね。「平家物語」の場合は、一の谷合戦、「太平記」の場合は、湊川合戦。ところが両方とも負けているわけですね。普通だったら、戦死者の墓は、勝った方が残ることが多いわけですよ。ところが、神戸では平家の公達の墓ですね。ただ、史実がはっきりしていないものもあって、要するに「平家物語」に拠っているわけ。『太平記』の場合は、楠木正成ですね。もとは梅が植えてあった梅墓で、小さな五輪塔があったところ。尼崎藩主の青山が慕らしい墓に直した。そのあとに

水戸光圀がやって来て、『嗚呼忠臣桶子之墓』を建てたわけですね。いずれも負けた人の墓を大事にしている。

私は神戸の人は歴史を大切にしていなと思うのですが、たとえば、戦国時代の神戸の代表的な城は滝山城ですね。しかし、神戸の人は滝山城のことを殆んど知らないのじゃないですか。新神戸駅のすぐ山側、布引ノ滝の近くにあったんです。

当時、京都の実権は細川が握っていたのですが、細川が本国にしていたのは、阿波、讃岐で、淡路も押さえていた。さらに、摂津、和泉を押さえ、京都へ連絡をしていたわけです。淡路は阿波、讃岐から京都への連絡路に当たるわけですが、淡路からどう渡るかというと、堺の方へ渡るのですが、もう一つのルートは兵庫へ来るわけです。滝山城は山の上にありますから、前を通る船が全部分かるので、細川氏の城としてつくられたんです。

三好長慶もここにいた。兵庫へ出入りする船全部に睨みをきかせられるし、淡路からの連絡のためにもあそこを押さえておけばよかった。戦国時代のこのあたりの中心は、滝山城の城下だったと思いますよ。

名生 滝山城内で演能をやってもいますね。

井上 その頃、西宮に越水城というのがあったのですが三好長慶がそこから近畿地方全部に号令をした。織田信長出現までの戦国時代の政権は三好長慶がもっていたわけですね。六甲山の山裾にずうっと城が並んでいた。

石田 信長が安土に本城をおいて京都を支配していたのと同じ格好で三好長慶は越水城に本拠をおいて、京都を支配していたんです。

名生 信長が有名になりすぎて長慶の名は一般には余り知られていませんが、そういう時代があったんです。

石田 もう一つ神戸の人に覚えておいて欲しいな、と思うのは、鎌倉時代の時宗の開祖、一遍上人が兵庫で死んでいることですね。日本の仏教の開祖で神戸で死んだというのはこの一遍ひとりですが、多分、神戸の人はご存知ないだろうと思う。

井上 兵庫区の真光寺に一遍廟所がありましたがお寺が焼けてしまつて復興が難しいようですね。

名生 墓石は残っていますね。

石田 日本の仏教のいわゆる総本山は、大い開祖が亡くなった所がそうなっていますね。一遍のお墓がちゃんと兵庫にあるのだから、本当だったらあそこが時宗の総本山になるところなのですね。

名生 真光寺というお寺すらみなさん余りご存知ないですね。鎌倉時代には法然や叡尊など有名な人がたくさん来ていますよ。

井上 叡尊は西大寺の坊さんですが、弘安六年（一二八三年）に授戒のために兵庫に來たのですが、説教を聞くために三千人近く集ったそうですね。すごいですよ。

石田 清盛塚もそのときに出来たのではないか、という説もありますね。

名生 そういうことをみても兵庫の港は、ものすごく繁栄していたということですよ。

井上 応仁の乱までに兵庫津が、まさに黄金の日日であったときが一ぺんあつて、それが戦場になったために、明との貿易船が土佐の港を回つて堺へ入つたわけですね。瀬戸内海を通らなくなつた。やがては南蛮船もみんな堺へ行つてしまつたわけですね。しかし、そういうことになつて兵庫港がさびれたというよりも、むしろ、瀬戸内式の港に戻つた、内海航路の港に戻つたんです。しかも、江戸時代に入つてから鎖国をしたので、またまた栄えたということですね。

平清盛は神戸の大恩人

落合 豊臣秀吉は政策として、経済をすべて大坂へ集中しようとして堺の商人も大坂へ移し、堺は逼塞するわけですが、大坂港は港として余りよくない。兵庫は天然の良港として水深も深いから大きな船も入れるということで、寛文から元禄にかけて（一六六〇〜九〇年頃）兵庫が大坂の外港として再び登場して来る。その頃にはすで

に堺を抜いています。北前船で象徴される西廻り船によつて北陸から北海道の物産が入つて来て、全国の貿易の中心が兵庫になるわけです。日本で最大の貿易港になるわけですね。

名生 蝦夷地（北海道）との交易に活躍した高田屋嘉兵衛が献納した灯籠が、れっきと兵庫に残っていますね。誰も関心をもっていないですね。

実は、徳川道を調査したときに、兵庫の町はすごいなあと思ひましたね。徳川道とは、今の石屋川から大蔵谷まで全長三十四キロの西国往還付替道のことです、そのつけかえ工事を石井村庄屋の谷勘兵衛という人が請け負っていたのですが、この人が大坂に支店をもつて金貸しをやっていた。この工事の費用を幕府からもらつて大坂の支店に預けて、それを自分の石井村の家にもつて帰つておいておいたところ、例の神戸事件のときに、長州藩によつて家が差し押さえられ、道普請の金を全部もつて行かれてしまった。それでも谷家は逼塞せず、全部の工事費を支払い、なおかつ、今の有馬街道の工事を引き受けてやっていますね。この財力にはびっくりしましたねえ……。庄屋職どころじゃないですよ。すごい金をもっているわけですね。しかも、その工事を慶応三年一二月七日の開港に間に合わせるために、きちつと一月でやっていますね。突貫工事ですね、すごいものです。

石田 それと「林の網元」ですね。兵庫の駒ヶ林のことですが、昔は、林のとれとのイワシ、ということとで売りに来たものですね。兵庫港が、すぐ隣に漁港として駒ヶ林をかかえていたことは、町の繁栄にとってよかったのじゃないかと思ひますね。

名生 話は変わりますが、生田神社や長田神社など、神社が神戸で果たした役割はどうなんですか。

石田 そうですね、神社は村落生活には切っても切れないものなんです、明治以降の神社はそれまでの神社とガラッと変わりましたからね。

井上 神戸ってのは、生田神社の神戸かんべという意味じゃな

いのですか。だから、神戸かんべって名前は生田神社から来ているのですね。

名生 兵庫と神戸の地名由来を説明するときに、「兵器庫」「神社の封戸」がまつて兵庫、神戸となった。封戸とは、神社の経済的なものを賄っている戸。簡単にいえば神社にくっついていて家のことで、神戸の場合、場所的に最も近いのは生田神社ですね。

石田 確かに武器庫があつたから兵庫なんですけど、全国到るところに武器庫があつたのに、方々に兵庫が残らないで、なぜここだけが兵庫なのか。また、神戸にしても、神社の封戸はいっぱいあるわけですね。それらは残っていない。だから、兵庫の地名も神戸の地名もずい分と偶然のような気がしますね。

井上 奈良に都があつた頃はやはり大坂が栄えていたのですが、結論としては、京都に都が移ったことが神戸の繁栄につながつたのでしょうか。

石田 清盛がいなくても誰かがやつたかも分りませんがしかし、清盛の兵庫築港は画期的な意味をもっていますね。神戸の歴史を語る上で清盛を忘れることは出来ない。名生 室町の頃は將軍の奥さんが兵庫まで船を見に来たりして大変な賑わいですよ。遣明船がここから出ていきましたから足利義満あたりもしょっちゅう視察のため神戸へ来ていますね。

石田 清盛の頃は宋船が港に入っていたのですが、後白河法皇が熊野行幸の帰りに、わざわざここまで寄つて見に来たんですよ。

名生 地図すらまともでない時代に日宋貿易をやるのだから、清盛はすごい男ですよ。

井上 清盛の文化的センスも相当のものです。いい字を書いていますね。確かに神戸の恩人だといえますね。

——現在につながる神戸の繁栄の基礎を築いたのが平清盛だというお話ですが、我々としては、先人の努力に報いるように今後とも都市づくりをつづけて行かないといけないと思います。本日はどうも有難うございました。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区旗塚通 6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町 12-1
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 稲岡 必三
神戸市中央区三宮町 1丁目 9-1-807
センタープラザ東館 8F
TEL (078) 392-2101

株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男
神戸市中央区三宮町 1丁目 10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野 友太郎
神戸市東灘区御影本町 6丁目 11番 19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上5社の提供によるものです。